

幌別東小学校

第4回学校適正配置に関する地区別検討委員会議事録

日時 令和3年12月17日（金）18時00分

会場 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

○山田会長 時間となりましたので、幌別東小学校区の第4回学校適正配置に関する地区別検討委員会を開催いたします。

前回は、統合にあたっての課題として、「通学距離・通学時間」と「踏切への対応」について具体的な議論を行いました。

このうち、「通学距離・通学時間」については、事務局である教育委員会より、通学距離は片道2kmを概ねの目安とする旨の説明があり、これを基に、概ね幌別町は徒歩通学、新栄町・幸町は路線バス利用で、交通費の全額補助により対応するとの考え方が示されました。委員からは、幌別町7～8丁目も片道2km弱の地域であり、新栄町・幸町同様の対応を求める意見が出されました。幌別東団地については、子育て世帯が多く入居されているということで、学校から遠くなり徒歩通学ということになれば、団地の入居者が少なくなる可能性があり、これにより地域が衰退することを心配するご意見だったと思います。これについては、教育委員会から、交通費補助の制度設計は次の段階の協議の場で議論していきたいとの考えが示され、補助制度の詳細については継続協議していくこととし、基本的な考え方に関しては大枠で合意いたしました。また、「踏切への対応」については、教育委員会より、学校での交通安全教育の徹底と登下校時の交通安全指導で対応するとの考え方が示され、これについても合意したところです。

本日も、前回に引き続き、統合にあたっての教育上の課題について具体的な議論を行いたいと思いますが、協議事項に入るまえに、12月2日に行いました意見交換会の開催結果について、報告を受けたいと思います。事務局お願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より意見交換会の開催結果について報告がありましたが、これに関し、委員の皆さんより何かありますでしょうか？

(特になし)

○山田会長 それでは次に協議事項に移ります。本日は統合にあたっての具体的な課題について協議していきます。はじめに、「①特色ある教育の継承」についてであります。事務局で資料を用意しているということですので説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 幌別東小学校で取り組まれてきた駒おどりの取扱いについて、事務局より説明がありました。これについては、幌別小学校側の受入態勢の問題が第一になるかと思いますが、事務局で事前に幌別小学校と協議した結果、幌別小学校としては、地域の協力を前提に受け入れることは可能であり、その受け入れ方法については、特定学年の総合学習やクラブ活動などが想定されるとの回答があったとのこと。ただ、幌別小学校で取り組んでいくためには地域の全面的な協力が必要になり、地域としてどのように関わっていけるかということが重要ですので、実際に活動に携わってらっしゃる方からお話を聞かせていただければと思います。

○委員 我々鉄南地区としては、続けていきたいという気持ちはあります。ただ、幌別東小学校と幌別小学校が統合してひとつの学校になるわけですし、また、郷土芸能の話でもありますので、仮に幌別小学校で続けていくということであれば、幌別小学校区の中央地区連合町内会とともに取り組むことが必要です。そうした意味では、幌別鉄南地区連合町内会が単独で考えるというよりは、中央地区連合町内会の役員の方々と協議することも必要になるかと思います。

○山田会長 活動は継続していきたいが、続けていくためには、幌別小学校区の中央地区連合町内会とも協議し、ともに取り組んで行けるかどうかを話し合うべきとの意見だと思います。それでは、次に同じく保存会として活動されている委員、ご意見ございませんか？

○委 員 統合先の幌別小学校としては、地域の協力を前提に、特定学年の総合学習やクラブ活動として取り組むことが可能との話があったとのことですが、保存会として実際に取り組んでいる立場としては、即答することはできないと思います。少し時間をかけて実際に取り組んでいる保存会メンバー5～6名と話し合っていきたいと思います。幌別東小学校区は、学校と地域の結びつきが特に強い地域であり、学校のスローガンも、「地域を愛し、地域に支えられ、地域とともにある学校」ということで、そうした思いもあって、私たちも、幌別東小学校における駒おどりの活動に取り組んできました。統合後の新しい学校についても、学校と地域の結びつきの強さがなければ、地域の協力の下で、学校として駒おどりに取り組んでいくということにはならないと思います。

○山田会長 駒おどりは幌別鉄南地区の郷土芸能として培われ、現在では保存会と幌別東小学校が連携し、学校ぐるみで取り組んでいるところです。今後、幌別東小学校と幌別小学校が統合し、校区が幌別鉄南地区から広がった時に、この郷土芸能を統合後の学校で取り組んで行くことが可能なのか、これは大きな問題だと思うのですが、これについて保護者の皆さんからご意見を聞きたいと思います。

○委 員 駒おどりについては、地域の協力を前提に続けてきたものですし、統合先の学校で取り組むとなれば、地域による同じような関わりが必要だと思いますので、鉄南地区側がどう考えるかだけでなく、中央地区連合町内会がどう考えるかが重要だと思います。そうした意味でも、まずは中央地区連合町内会と協議し、それを基に話し合うことが必要だと思います。

○委員 さきほども委員から話がありましたが、郷土芸能として継承してきた幌別鉄南地区連合町内会として、また保存会として、あくまで鉄南地区の子どもたちのみを対象に行っていきたいのか、または統合先の幌別小学校区の子どもたちも含めて行っていきたいのかによって、対応が違ってくると思います。仮に鉄南地区の子どもたちのみということであれば、幌別鉄南地区連合町内会や保存会として対応を考えればいいでしょうし、幌別小学校区も含めてということであれば、中央地区連合町内会と話し合う必要があるかと思えます。そこはやはり継承を担ってきた保存会の意向がまずは重要になるように思います。

○委員 駒おどりは、幌別第一町内会の前川さんによって創作され、当初は幌別第一町内会で継承されてきましたが、役場の移動などによって町の中心が幌別鉄南地区から線路の北側に移り変わる中で人口が減り、子どもたちの数も減ったことで、幌別第一町内会のみで継承していくことが難しくなったことから、鉄南地区全体で取り組んできた経緯があります。その後も、子どもたちの減少に歯止めがかからず、また、塾や習い事で余暇時間を地域活動に充てることのできる時間が少なくなり、参加者がどんどん減ってきたことから、平成27年以降は、幌別東小学校と相談し、総合学習の一環として取り組んできました。ただ、幌別東小学校と幌別小学校が統合となった時に、鉄南地区の子どもたちを対象に、希望者のみで行うのは難しいと思っています。このため、統合後の幌別小学校で学校ぐるみで行うことが考えられるのですが、その場合には、鉄南地区だけが協力ということではなく、新小学校区全体で協力する形でなければ続けていくことはできないと思います。

○委員 さきほど保存会メンバーや中央地区連合町内会と話し合いを行う必要があるとの意見がありましたが、まずは教育委員会や学校の参加なしに、保存会だけで話し合いを行い、方向性を見出していくのがいいのではないのでしょうか。

○山田会長 私も長く駒おどりに関わってきたので、このまま消滅してしまうのは残念なことだと思っています。郷土芸能は、地域で作って地域が継承していくものですの

で、地域性が薄れていく時代にあっては継承も難しくなってきたというのが現実かと思います。そうした中であって、鉄南地区では、幌別東小学校において学校ぐるみで取り組むことで継承を図ってきたわけですが、統合後の学校は校区が鉄南地区に留まらないわけですので、仮に統合後の学校で取り組んでいく場合、中央地区連合町内会も含めて地域がどのような形で関わっていくのか、保存会メンバーや地域間の話し合いが必要になると思います。このため、幌別小学校での受け入れが可能ということを確認した上で、今後も継続して協議を行っていくということになるかと思いますが、委員の皆さん、それでよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 続きまして、「放課後児童の環境整備」についてであります。これについても、教育委員会の考え方を含め、事務局で資料を用意しているということですので説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 放課後児童の環境整備に関し、学校統合に伴い、今後、児童館、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の3つの事業をどのように展開していくのかという内容だったと思います。児童館については、統合に伴い、幌別児童館と常盤児童館を統合し、幌別小学校敷地内に新施設を建設、放課後児童クラブについては、新校区の児童クラブを児童館に併設する形で建設、放課後子ども教室については、地域の参画が得られる限りは、何らかの形で続けていきたいという提案でした。これに関し質問や意見などはありませんでしょうか？

○委員 私は、幌別東小学校区の放課後子ども教室実行委員長として、開設から携わってきました。放課後子ども教室の趣旨としては、主に学校の空き教室を利用し、学年の垣根を取り払って、学校ではできない体験をするということかと思います。さきほどの教育委員会の説明は、幌別東小学校の校舎を継続して利用することを

想定しているように聞こえたのですが、仮に統合となれば、統合後の幌別小学校の空き教室を利用して、鉄南地区だけでなく、新校区の地域全体が運営に関わる形じゃないと継続していけないと思います。

○委員 教育委員会としては、地域の参画がある限りは継続していきたいということで、委員からもあったように、統合先の幌別小学校の空き教室などで、鉄南地区だけでなく、中央地区からも参画を得ながら行うのが本来あるべき形かと思っておりますので、これについても、駒おどり同様、両校の PTA や両校区の連合町内会同志で話し合いを続けていけばよいのかなと思います。

○委員 放課後子ども教室は、うちの子も行事に参加させてもらい、食べれなかった菓が食べれるようになったりとか、子どもの成長を実感出来るような事も体験させていただいているので、幌別小学校との統合後も是非続けて欲しい思いはあるのですが、例えば幌別小学校に空き教室があるのかですとか、PTA や地域も含め、幌別小学校側がどのような考えを持っているのかわからない部分があります。幌別東小学校側の考えだけで決定できるものではありませんので、地域も含め、統合する両校の話し合いが必要かと思っております。

○事務局 まず、PTA や地域を含め、受入側となる幌別小学校の関係者も含めて協議する必要があるとのご意見をいただきましたが、我々もそのように考えておまして、現段階では、教育委員会として、地域の参画がある限りは継続する意思があるということをお示しした上で、両校の統合後にどのような形で続けていくのかということについては、統合の方向性が決定した後に、幌別小学校の関係者も含めて、その詳細を協議していきたいと思っております。

また、教育委員会としても、統合により一校区になるわけですから、現幌別東小学校児童だけでなく、両校区の児童を対象に、統合先である幌別小学校の空き教室などで行うのが通常の方角性と考えており、この点については、委員の皆さんの考えと違いはありませんが、統合後にどのような形で実施できるかについては、幌別小学校関係者も含め、引き続き協議していくことが必要かと思っております。

ただ、参考までに申し上げれば、幌別小学校は、比較的新しい校舎ということもあり、教室に余裕のある建物ではありませんし、統合により児童が増加することを考えれば、放課後子ども教室用の空き教室を確保することは場合によっては難しいことであろうかと思っておりますので、例えば、新たに整備を検討している児童館の一部を活用しながら実施するということも考えられようかと思っております。いずれにしても、放課後子ども教室をどのような形で実施していくかということについては、幌別小学校の関係者も含め、継続して協議していくことが必要と考えております。

○山田会長 今出された、放課後子ども教室の統合後のあり方については、統合先である幌別小学校の関係者も含めて、継続して協議していくことになろうかと思っておりますが、両校区の児童館を統合し、放課後児童クラブも併設した新施設を幌別小学校敷地内に建設することについては、委員の皆さんいかがでしょうか？

○委 員 小学校区に児童館がひとつというのは、何かきまりがあるのでしょうか。

○事務局 これについては、法律で決まっているということではなくて、登別市においては、小学校区にひとつという考え方で実施してきているということです。他自治体においては、必ずしも小学校区毎に児童館が整備されているわけではありませんので、児童館に関しては、登別市は他市に比べても充実しているということはお理解いただければと思います。

○山田会長 小学校単位で考えた場合には、児童館をはじめとした放課後児童の居場所も統合されてしまい、鉄南地区にそうした環境が無くなってしまうわけですが、はたしてそれで良いのかという問題はあるかと思っております。例えば、国は、地域に子どもの居場所を作ることを推奨しているわけで、そうした大きな動きを考えた場合、行政による居場所づくりとは別に、何らかの形での環境づくりを考えることが必要なのではないかと思っておりますが、この点に関し、今後のすすめ方について、事務局から説明いただきたいのですが。

○事務局 いま会長から話があったように、あくまでも今回のテーマは、児童館や放課後児童クラブといった行政による環境整備に絞った話になります。行政による環境整備は小学校区をベースに考えざるを得ないところがありますが、民間における取組は小学校区に捉われるものではありませんし、行政の動きとは別に進められていくものだと思いますので、民間の取組に対する支援のあり方に関しては、議論の進展に応じて個別に検討していくことになろうかと思います。このため、地区別検討委員会における方向性としては、行政による放課後児童の環境整備に関しご理解いただければと思っております。

○委員 放課後児童クラブについては、1児童あたり1.65㎡という面積が決められており、1クラスあたり40人と定員が決められていると思うのですが、そのように面積要件がある施設を児童館と併設する形で幌別小学校敷地内に建設することが現実的なのか少し疑問を持って聞いていました。また、放課後子ども教室については、現在、幌別東小学校で実施されているはまなすメートに関しても、是非継続していただければと思っています。

○山田会長 「放課後児童の環境整備」について議論を行ってきましたが、児童館については、両校区の児童館を統合し、幌別小学校敷地内に新施設を建設、放課後児童クラブについては、新たに整備する児童館に新施設を併設、放課後子ども教室については、教育委員会としても継続していく考えということであり、両校の統合後にどのような形で実施していくのかについては、幌別小学校関係者も含めて引き続き協議を行っていくということで、委員の皆さんよろしいでしょうか？

(異議なしの声あり)

○山田会長 続きまして、「統合時の子どもたちへの対応」について、教育委員会の考え方を含め、事務局で資料を用意しているということですので説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○山田会長 事務局より、統合時期や準備事業などに関し説明がありました。幌別東小学校と幌別小学校の事前の交流事業ですとか、統合時の教員配置などについて、これまで皆さんからいただいた意見を考慮した内容になっているものと思います。これに関し質問や意見などはありませんでしょうか？

○委員 いまは我々大人が委員会の場で話し合っているわけですが、やはり一番重要なのは、幌別東小学校の子どもたちが、統合を控えて実際にどのようなことに不安を感じるかということだと思いますので、子どもたちが実際にどのような思いを抱えているかを大事にしながら、対応していかなければならないと思います。

○山田会長 この件について、事務局何かありますでしょうか？

○事務局 委員からお話があったように、統合が決定した時に、実際に子ども達がどのような不安を抱くのか、これに対応していくことは非常に重要だと思います。仮にこの委員会で統合に合意するという決定をいただいた後には、先ほど申し上げましたとおり、両校の関係者が入って交流事業の詳細を検討していくこととなりますので、その段階において、例えば幌別東小学校の子ども達に話を聞いて、その内容を交流事業に反映させていくということなども考えたいと思います。

○山田会長 本日は、統合にあたっての課題のうち3つのテーマに関し議論していただきました。統合にあたっての課題のうち、教育環境に関することについては、継続協議していくことも含めて、大枠としてはこれまでの議論で納得できたものと思いますので、次回に関しては、まちづくりに関する課題をテーマに議論を行っていきたいと思います。次回の具体的なテーマに関し事務局より説明をお願いします。

○事務局 前回から今回にかけての議論により、教育環境に関するテーマについては、一周したのかなと思っております。駒おどりの問題ですとか、放課後子ども教室の

あり方などに関しては、今後も継続して協議していくこととなりますが、継続して協議していく事項も含めて、大枠としてはこれまでの議論でご理解いただいたのかなと思います。このため、次回以降は、学校が地域から無くなることによる課題をテーマに議論することとし、次回の委員会におきましては、「統合後の校舎利用について」議論していただければと思っております。統合後の校舎利用に関しては、市長部局の総務部が中心となって検討していくこととなりますので、次回の委員会におきましては、説明員として市の総務部の参加を得て、現段階での市の考え方なども示しながら、具体的なお話ができばと思っております。

○山田会長 事務局より、次回の内容などについて説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか？

○委 員 現段階で、幌別東小学校校舎の再利用の話をするのは、少し拙速ではないかと思えます。この件については、もう少し時間をおいてからでも良いのかなと。まだ、地区別検討委員会としても、統合に合意する結論を出したわけでもありませんので、現段階で校舎の再利用の話をするのは拙速であるように思えます。

○山田会長 ただいまの委員の発言に対して、事務局のご意見をお願いいたします。

○事務局 仮に統合となった場合には、街の中心に建物が残ってしまうこととなりますので、今の段階で結論を出せるものではありませんが、現段階における市の考え方でも示しながら、利活用に関する概ねの方向性を共有するという意味で申し上げました。ただ、あくまで事務局の提案ですので、現段階で議論する必要性も含めて、この場で検討いただければと思えます。委員がおっしゃるように、現時点では統合の方針が決定した訳ではありませんので、現段階で利活用の話をするのは、拙速だという考え方もあろうかと思えます。

○委 員 委員が言うことも理解できるのですが、教育委員会も言われたように、校舎の利活用は大きなテーマになると思います。これについては、町内会を中心に議論

すべきことかと思しますので、地区別検討委員会ではなく、幌別鉄南地区連合町内会として、校舎の利活用に関する市の考え方を聞かせてもらい、意見交換していったらどうかと思います。

○委員 幌別鉄南地区連合町内会としては、幌別東小学校統合の方針が決定した段階で、各町内会の会員の皆さんに周知しなければならないと考えておりますので、その前に、ある意味で統合を前提にしたようにも受け取られかねない、利活用の話をするのはやはり拙速だと思います。統合方針決定後に、町内会の全戸回覧を行い、その後に校舎の利活用の話し合いを行うというのがよろしいかと思します。

○山田会長 幌別鉄南地区連合町内会として、今までの経過を各町内会に周知徹底して、ご理解をいただいた上で、統合後の校舎の利活用を議論してはどうかという意見だと思いますが、事務局いかがでしょうか？

○事務局 両委員からのお話は、この委員会としては、まちづくりの話には踏み込まないということだと思います。まちづくりに関する課題をテーマにしないとすれば、その他の教育環境に関する議論については本日で一周しましたので、その議論を踏まえて、地区別検討委員会として、現段階で統合に合意するか否かの結論を出すことも可能かと思します。教育委員会としては、地区別検討委員会の結論を踏まえて、統合の是非に関し基本方針を策定することになりますので、その段階で鉄南地区連合町内会の皆さんに広く周知させていただき、その周知後に、統合後の校舎の利活用のあり方を地域の皆様と議論していく。事務局としても、そのような形で進めることでよろしいのではないかと思します。

○山田会長 ただいまの事務局の案でよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○山田会長 それでは、教育環境に関する課題についての議論は本日で一周し、継続協議し

ていく事項も含めて大枠で了承しましたので、幌別東小学校を幌別小学校に統合することについて、地区別検討委員会として合意するという事によろしいでしょうか？

(委員の了承あり)

○山田会長 事務局においては、そのような形で今後の対応をお願いいたします。最後に会議次第4の「その他」について、事務局より何かありますでしょうか？

○事務局 いま会長にまとめていただいたとおり、地区別委員会として、幌別東小学校を幌別小学校に統合することに関し合意するという結論を出していただきました。統合後の校舎の利活用に関しては、教育委員会による統合方針が決定した後に、地区連合町内会等で協議していくというよう整理になったと思います。次回の地区別検討委員会では、今までの議論を整理するとともに、統合の期日について議論していただければと思います。統合期日については、遅くとも令和7年4月というように申し上げてきましたけれども、果たして令和7年が良いのか、令和6年が良いのかという問題がありますので、次回の委員会では、この統合期日に関し議論いただければと思います。次回委員会については、1月21日金曜日、時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、鉄南ふれあいセンターホールを予定しております。具体的な内容に関しては、後日、事務局より連絡させていただきます。

○山田会長 次回日程等について説明がありました。これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか。

(質問なし)

○山田会長 その他、委員の皆さんから何かありませんでしょうか。無いようですので、これで「幌別東小学校 第4回学校適正配置に関する地区別検討委員会」を終了し

ます。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。